

どーらく 改題 逆説土楽たより

断捨離考

1月号(NO16)通巻 166号

2020年1月10日(金)発行(毎月10日)

【農暦】恒例の布施弁天に初詣

○今年も大過なく新春を迎えている。豪華なものではないがお節でお屠蘇を頂いた。信仰心はある訳でないが、形だけでも年の区切りをと、門松飾りを飾っている。恒常化した異常気象による被災、政治・政権の劣化、格差・貧困の拡大などで、“大過なく”の有り難さが重みを持つような世の中になって来ていると実感している。

○2日には恒例にしている布施弁天に初詣に家族で行った。厄年に当たる孫の厄除け祈祷をしてもらった。おみくじは大吉、吉、小吉、凶であった。信じていないと思いつつながら気になるものである。最近では凶が無いところがあると聞くと複雑なものがある。

○21世紀になってからお守りやお札の力を信じる若者は2倍になっているという。NHK放送文化研究所の1973年から5年に一度ずつ実施してきた「日本人の意識」という調査の結果である。AIやネット社会の進展する一方で心の不安が大きくなっているのだと思う。不安定な生活、社会が影響しているのかも知れない。

○畑の大根、白菜は、大丈夫そうなので収穫していない。暖冬?なのか、しばらくはそのままにして置く事にする。玉葱はカラスかキジかのいたずらが続いている。霜柱かも知れない。数本抜かれている。

○畑の片付けを昨年末に行った。だらしない性格故か農資材など負の遺産が多い。ちょっとの積りが中々の量である。今年に持ち越しが多い。伸びた枝の剪定などはほとんど出来ず仕まいである。芽吹きの前までにはリセットされた状態にして、スタートしたい。また超ミニ菜園にしたいと思っている。(了)

＜短歌2首＞ 元旦の ショッピングモール 半休み
田舎行かない 街びと溢れ
正月の 門松飾り しない家
ありなし交互 世相感ず

【楽農】＜畑＞大根、ネギなど少量収穫

*畑と農資材の片付け。

【楽市】イベント交流・直売など。

○イベントなど；松戸会(16日) LGBT講演会(18日) TGB大会忘年会(19日) 詩吟例会忘年会(12・19日) 山岳部OB忘年会(27日) 共生の会(9日) 川柳の会(9日)に参加など。



＜孫の年賀状＞オリジナルの作成で。1日撮影



＜門松飾り＞12年前の子年のものです。

【つぶやき=Tweet】昔、“君ら若者が”と言われたことが！

○いつも暗い話になってしまうが、不本意だと思っている。楽しく明るい方が良いに決まっている。そう考えながら重い暗いになってしまう。鷲田清一の連載「折々のことば」

(朝日)をよく読んでいます。“年収は増えたけど、お金がなかったころの方が楽しかったよね(4日)”“決意した不幸な母子心中から、みじめな母親を救ったのは、抱いていた嬰兒の微笑であった例も少なくない(5日)”“戦争をした人がもつといやな人なら、良かった。；温みと残虐が同じ人に同居しうる(6日)。今を鋭く抉(えぐ)る。意味深い言葉が毎回つぶられている。

○「米イラン司令官殺害」4日の朝日のトップの見出しである。指示したもの、実行した人は恐らく温みと残虐が同じ人に同居しているのだろうと思う。怖い。殺害現場となったのはイラクのバクダットである。

イラクの国民会議は「主権の侵害だ」と駐留米軍撤退を政府に求める決議を採択したという。このニュースを受けてか判らないが7日の「折々のことば」には“戦争とその産物は、経験しなかった我々にも恥辱を与える。”とあった。思想や芸術の力や「日常生活を維持していく知恵」が無ければ、人類はとっくに滅びていただろう。と結んでいた。

○日本財団がこの秋(昨年)、日本、インド、インドネシア、韓国、ベトナム、中国、イギリス、アメリカ、ドイツの9カ国の17~19歳計9千人を対象に実施した調査によれば、「自分で国や社会を変えられると思う」「社会課題について積極的に議論している」などの質問に「はい」と答えた人の割合は、日本はダントツの最下位だった。

○スウェーデンの18年の国会議員選挙では、18~24歳の投票率は84.9%だった。日本の昨年7月の参院選の20歳の投票率は26.34%(抽出調査)であった。桁外れに低い。日本の若者の状況を表わしていると思う。日本の全体の投票率は48.8%である。半数を割っている。

○「おかしい」(大学共通テスト)と声上げた高校生のケンさん(ツイッター名)が5日の朝日の一面記事になっていた。樺坂48の「サイレントマジョリティー」の歌詞に、「どこかの国の大統領が言っていた(曲解して)声をあげない者たちは賛成していると」「NO!と言いなよ!」好きな樺坂の曲から、なんとなくメッセージを受け取っていた。「言葉にしたら国や政治は変わる。民主主義って、そういうものかな」。いまはそう思う。ケンさんを後押ししたい。昔、“君ら若者が”と言われたことが思い出された。(了)

○断捨離考：資料・冊子などと整理と廃棄をする。少し進む。頑張らないと危険。

【後記】寒空の星、畑の霜柱を踏むのも。

Kogure 農場に。【特に編集せずランダム構成】



＜布施弁天＞初詣の大勢の人が。出店も。人影はカット。2日撮影

発行者；小暮虎雄

住所；笠間市本戸4201-10

携帯電話；090-9333-4135

HP；kogure農場

メール；torao-k@nifty.com